

公益社団法人日本青年会議所北陸信越地区協議会 2025 年度 委員会基本方針

未来のキズナ共創特別委員会 委員長 大桃 崇弘

<p>担当する 委員会の未来 (目的)</p>	<p>北陸信越から繋ぐ、共に創る未来 北陸信越地区の次世代を担う子どもたちが、他者との協力や共生の精神、そして平和の価値を理解し、自分たちがその維持に関わるという意識を育むことで、多様性を尊重し合い、調和の取れた社会を築きます。この基盤のもと、平和で発展する未来を共に創造します。</p>
<p>委員会の設置 背景と役割</p>	<p>現代社会では、デジタル化や個人主義が進展し、協力や共生の精神が育ちにくくなっています。また、戦後の長い平和によって平和の尊さが風化するリスクが高まっています。こうした背景から、当委員会では、地域の子もたちに他者との協力や異なる価値観を尊重し合う機会を提供し、多様性を受け入れる地域社会を形成します。そして、平和の価値を理解し、行動に移せる次世代を育てるため、当委員会は北陸信越地区に根ざした活動を展開します。</p>
<p>委員会 担当事業</p>	<p>1.JC カップ U-11 少年少女サッカー予選大会の企画実施【地区連(地域 G)】</p> <p>【事業概要】 通常の教育では競争や個人の成果が重視される一方、本事業ではサッカーというチームスポーツを通じて、子どもたちが他者との協力や共生の大切さを学び、自発的なコミュニケーション能力や共生の精神が育まれることを目指します。この体験を通じ、次世代の北陸信越地区を支える子どもたちが互いを支え合い、思いやりに溢れた地域社会を構築するための基盤を形成します。 実施時期:2025 年 7 月から 8 月。</p> <p>2.スポーツを通じた個人の意識改革から共生社会実現に向けた事業の実施【地区連(地域 G)】</p> <p>【事業概要】 現代社会では、デジタル化や個人主義の進展により、子どもたちが異なる価値観や背景を持つ人々と直接交流する機会が減少しています。本事業では、デフスポーツなどを通じて、子どもたちが他者の個性や違いを理解し、互いを尊重する意識を育みます。共通の目標に向かって協力し合う体験を重ねることで、多様性を認め、他者を理解し、共感する精神が自然と根つき、地域社会全体の活力と調和を促進します。本事業を通じて、調和の取れた共生社会を構築するための基盤を形成します。 実施時期:2025 年 7 月から 8 月。</p> <p>3.戦後 80 年を迎える日本の平和共育推進事業の参画【地区連(国家 G)】</p> <p>【事業概要】 戦後 80 年を迎え長く平和が続く中、平和が当然のものだと感じている人も多くいます。本事業では、過去の歴史を学び、平和が当たり前ではないことを再認識する機会を次世代に提供することで、平和の価値を深く理解し、行動できる人財を育成します。平和共育を通じて、平和のために行動する意思が一層求められる現代において、地域や国家の平和を支える基盤を形成します。 実施時期:2025 年 4 月から 8 月。</p>